

2018年5月29日

**第71回「広告電通賞」決まる**  
**— 総合広告電通賞は株式会社NTTドコモが初受賞 —**

第71回「広告電通賞」の入賞作品が決まり、総合広告電通賞には株式会社NTTドコモが選ばれました。NTTドコモは、初の受賞となります。

5月25日、東京・千代田区の帝国ホテルで広告電通賞審議会の最終選考委員総会が開かれ、新聞、雑誌、オーディオ、フィルム、OOHメディア、デジタルメディアの「広告電通賞」、「アクティベーション・プランニング電通賞」、「イノベティブ・アプローチ電通賞」、「広告電通賞特別賞」と各種目の「最優秀賞」「優秀賞」、名古屋・九州・北海道3地区の「地区広告賞」「準地区広告賞」が別紙のとおり決まり、最後に「総合広告電通賞」が決定しました。

今回から従来の「ラジオ広告」を「オーディオ広告」に、「テレビ広告」を「フィルム広告」に名称変更し、応募範囲も拡大しました。

選考の対象となった広告作品は、2017年4月1日から2018年3月31日まで（「アクティベーション・プランニング」は2017年3月1日から）に実施されたもので、選考委員会にかけられた作品点数は1,448点、最終選考に残った作品は434点でした。

本年5月18～25日に東京で開かれた最終選考会において、予選通過作品の中から入賞作品が選出された後、5月25日の最終選考委員総会に諮られ、入賞全61点が決定しました。

総合広告電通賞に決定したNTTドコモは、「フィルム」で広告電通賞、「OOHメディア」で広告電通賞と最優秀賞を獲得するなど、広告活動全般にわたる優れた成果が評価されました。

上記以外の種目の広告電通賞は、「新聞広告電通賞」は株式会社北國新聞社、「雑誌広告電通賞」は味の素株式会社、「オーディオ広告電通賞」は大日本除虫菊株式会社、「デジタルメディア広告電通賞」はヤフー株式会社、「アクティベーション・プランニング電通賞」は別府市、「イノベティブ・アプローチ電通賞」は株式会社バスキュールがそれぞれ獲得。また、広く世間の注目を集め話題となった広告作品・ソリューションを制作した広告主に贈る「広告電通賞特別賞」には、別府市が選ばれました。

贈賞式は、7月2日に東京・港区のグランドプリンスホテル新高輪・国際館パミールで行われます。

### <「広告電通賞」について>

広告電通賞は、1947年（昭和22年）12月に創設された日本で最も歴史のある総合広告賞です。公的機関である「広告電通賞審議会」によって運営されており、優れた広告コミュニケーションを実践した広告主を顕彰することで広告主の課題解決の道を広げ、日本の産業・経済・文化の発展に貢献することを目指しています。選考は全国の広告主、メディア社、クリエイター、有識者ら約500人から構成される選考委員により行われます。

以 上